昭和十一年七月二十九日　上毛新聞　水曜日　第一萬六千五百十二號

全縣下防空大演習

防護團規約發表

卅一日打合せ會開く

高崎市の長老井上房吉翁が去る廿四日午後四時半頃高崎市中宿民家で白寿の天寿を全うし大往生を遂げたが翁は明治三年上州碓氷郡横川村に生れ明治廿年頃から高崎市に移住し爾来五十有餘年の間一名物として親しまれ市内の長老として尊敬され特に晩年は毎日の如く散歩を欠かさず市内の隅々まで知り尽くしていたが翁の長寿の秘訣は日頃の節制と温和な性格にあるとされ翁は生前「人間は何事も程度が肝心だ」と常に語つていたが翁は明治三十年頃から高崎市の市会議員に当選し爾来三期十年間市政に尽くし大正十年頃から高崎市の名誉市民として推されたが